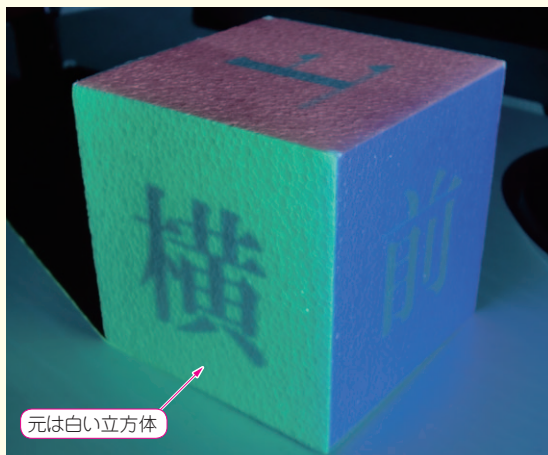
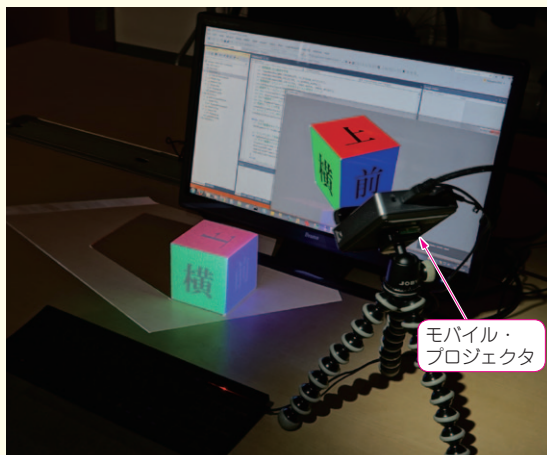


① 立体にでも何にでも投影できる



(a) 白い立方体をカラフルに!



(b) 画像の投影にはモバイル・タイプのプロジェクタを使う

写真1 プロジェクタと画像処理を組み合わせるとスクリーン以外の立体物にも投影できる
第7章と第8章で解説します



(a) 無地のティーポットが...



(b) 模様付きに!

写真2 現実なのかイリュージョンなのか区別がつかない時代がきょうかも!
曲面投影は第9章で解説します

② 色や模様がついたモノに投影してもちゃんと見える!



(a) 投影面



(b) 補正前



(c) 補正後

写真3 これができると実用的! 色や模様のついた物への投影も可能!
メカニズムを第10章で解説します

③ 応用するとこんなこともできる



(a) 投影前



(b) 投影後…誌面だとわかりにくいですが透明になったかのように見せられる

写真4 透明じゃないものを透明になったように見せることも可能!
第11章で紹介します



(a) 白色照明下での見た目



(b) 輪郭強調



(c) 彩度強調

写真5 写真の見た目をリアルタイムに変えることも可能!
第11章で紹介します

Intro

Pre

App1

App2

App3

App4

1

2

3

App5

4

5

App6

6

App7

7

8

9

App8

10

11